

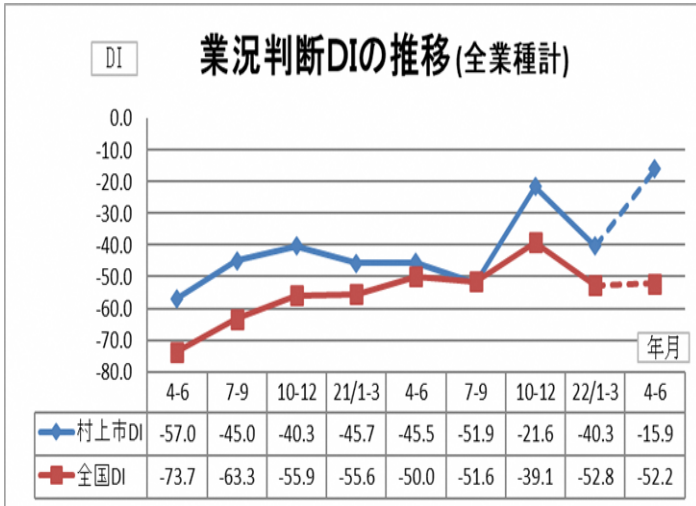


村上市 景況調査報告

＜令和4年1-3月期の実績・令和4年4-6月期の見通し＞

『新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しいが持ち直しの動きがみられる』

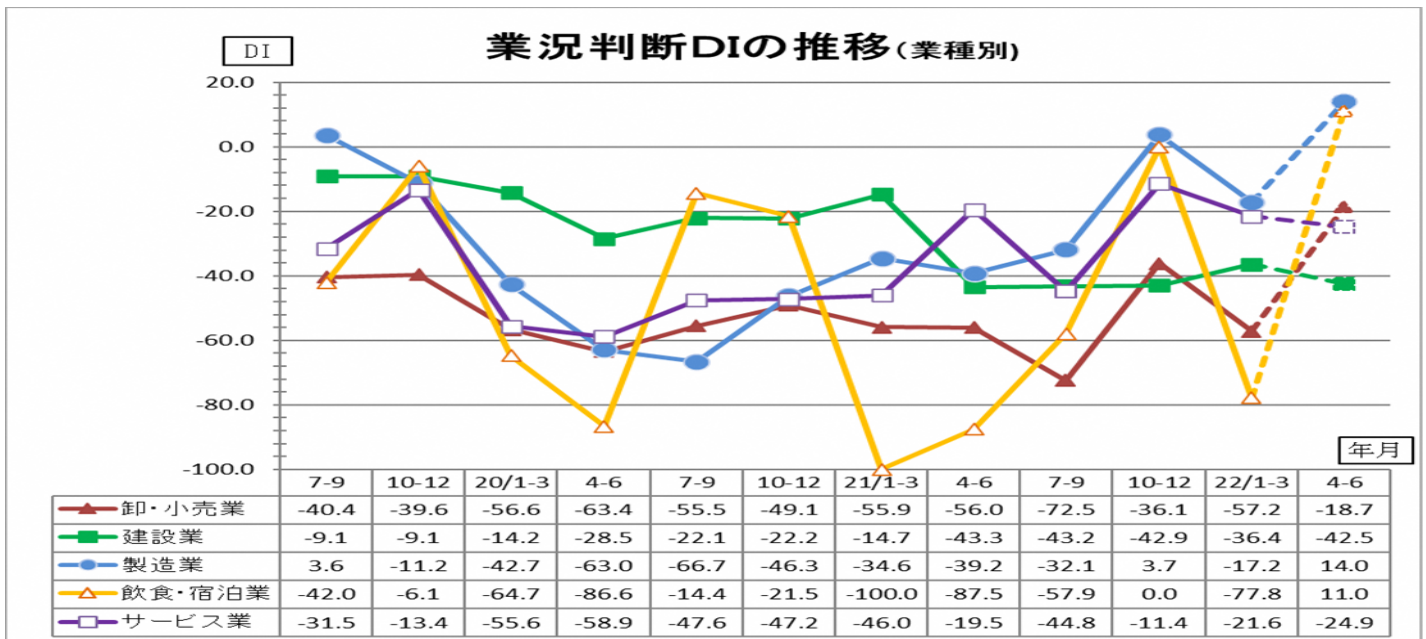
■村上市の業況(全業種計)



今期(1-3月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(10-12月期)と比べ18.7%低下し▲40.3となった。前期における今期予測(▲40.6)より0.3%上昇し前年同月比では5.4%上昇した。全国DIは13.7%低下し▲52.8となった。

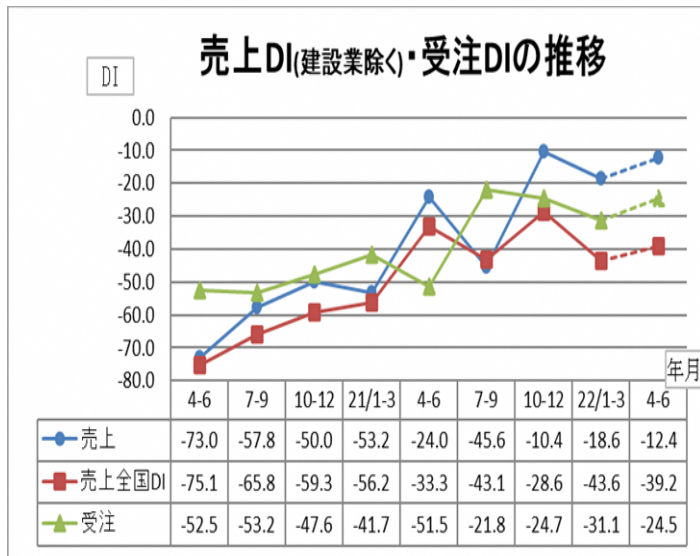
来期(4-6月期)については、24.4%上昇し▲15.9となる見通し。全国DIは0.6%上昇し▲52.2となる見通し。

当市の全業種での来期DIは大きく改善される見込みで、業種別にみると前期比で建設業だけ改善したが、来期は建設業とサービス業で減少する見込み。依然として新型コロナウイルスの影響は大きいがまん延防止措置が解除され、明るい兆しも見受けられる。



■各業種の動向

卸・小売業	まん延防止措置が発令され、ほとんどの小売業(食品、酒類、弁当、土産品、衣料品)では、売上が大幅に減少したというコメントが多い。反対に、家具店、作業服専門店では売上が増加しているというところもある。まん延防止措置以外の悪材料として、大雪、時化、顧客の高齢化(自動車販売)、仕入単価の上昇などが目立つ。 見通しとしては、ウクライナ情勢による物価高騰が不安視されている。	飲食・宿泊業	3月はまん延防止措置解除により持ち直したが、時短営業や休業により1月・2月が大変だったとのコメントが多い。宿泊客、日帰り客、観光客の減少はあるが、テイクアウト利用客が多かったという飲食店のコメントもある。県民割により県内客の客数が微増した。 見通しとしては、調査時点では感染者が増加傾向にあるが県民割やGoTo事業再開に期待が寄せられている。
建設業	従来から受注減少というコメントが圧倒的に多いが、大雪だったため除雪での売上が増加したというコメントも多く見受けられる。大雪のため現場作業が進まなかったというコメントもある。 見通しとしては、この先も受注が減少する見込み。	サービス業	当地域における感染者の増加、大雪による外出控えなどにより販売不振。一方、業績が良好なところでは、前年比で顧客(受講者)が増えたところや令和3年度中にM&Aを実施したなどの回答もある。 見通しとしては、染色業は祭の有無に左右されるが注文が増え明るさが見え始めており、観光関連もまん延防止措置が解除され、少し光が見えたというコメントがある。
製造業	材料の値上がり利益を圧迫している。将来の労働力不足を見込み大型機械を導入して生産性を大幅に改善させたという企業もある。 見通しとしては、円安やウクライナ情勢による原料や資材、燃料などの値上げによる利益圧迫が今後も懸念される。		



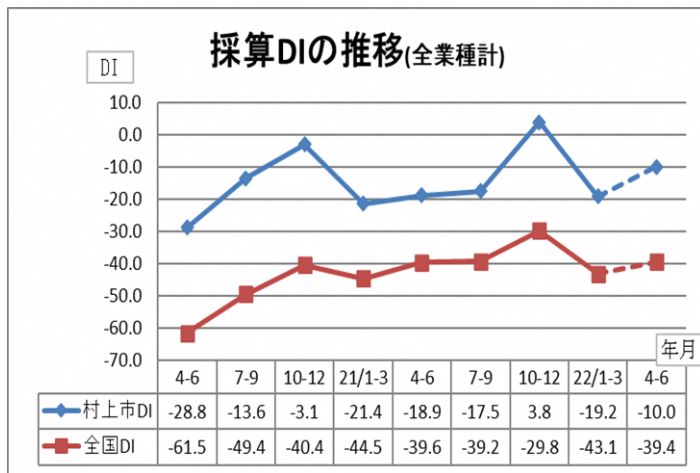
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、8.2%低下し▲18.6となった。前期における今期予測(▲27.4)より8.8%上昇し前年同月比では34.6%上昇した。全国DIは15.0%低下し▲43.6となった。

来期については、6.2%上昇し▲12.4となる見通し。全国DIは4.4%上昇し▲39.2となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、6.4%低下し▲31.1となった。前期における今期予測(▲34.5)より3.4%上昇し前年同月比では10.6%上昇した。

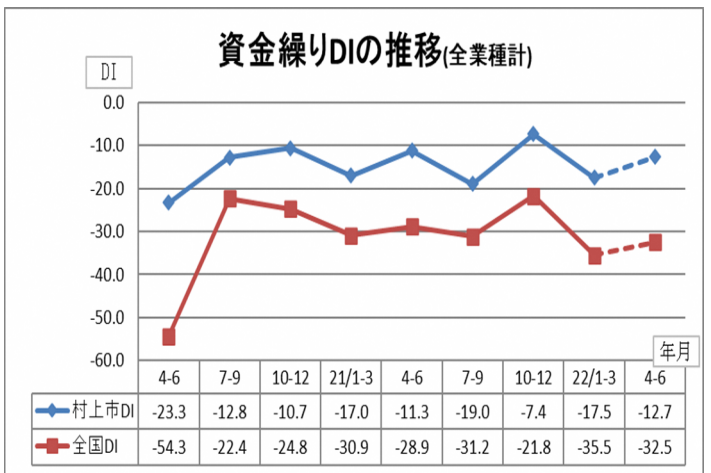
来期については、6.6%上昇し▲24.5となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	▲41.2	▲45.4	▲39.4
・製造業	▲3.6	▲14.3	▲7.2



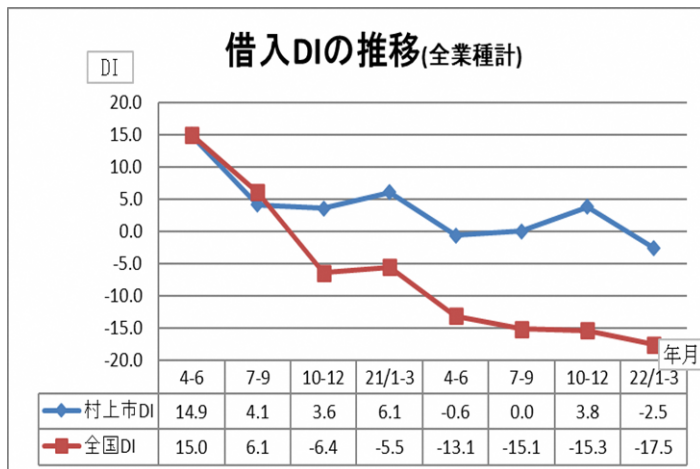
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、23.0%低下し▲19.2となった。前期における今期予測(▲31.3)より12.1%上昇し前年同月比では2.2%上昇した。全国DIは13.3%低下し▲43.1となった。

来期については、9.2%上昇し▲10.0となる見通し。全国DIは3.7%上昇し▲39.4となる見通し。



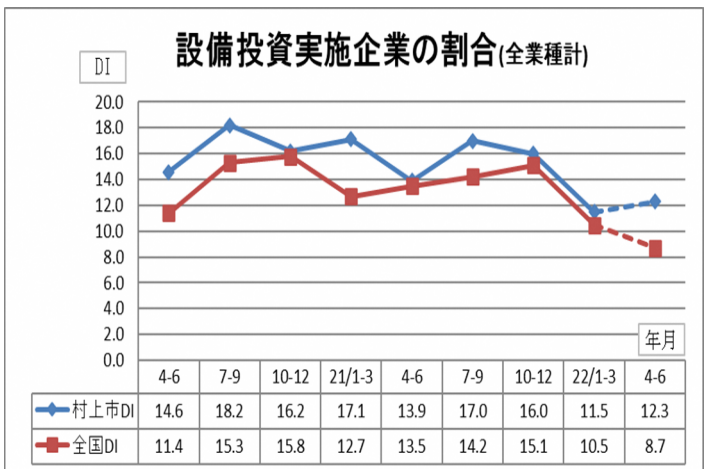
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、10.1%低下し▲17.5となった。前期における今期予測(▲25.9)より8.4%上昇し前年同月比では0.5%低下した。全国DIは13.7%低下し▲35.5となった。

来期については、4.8%上昇し▲12.7となる見通し。全国DIは3.0%上昇し▲32.5となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、6.3%低下し▲2.5となった。全国DIは2.2%低下し▲17.5となった。

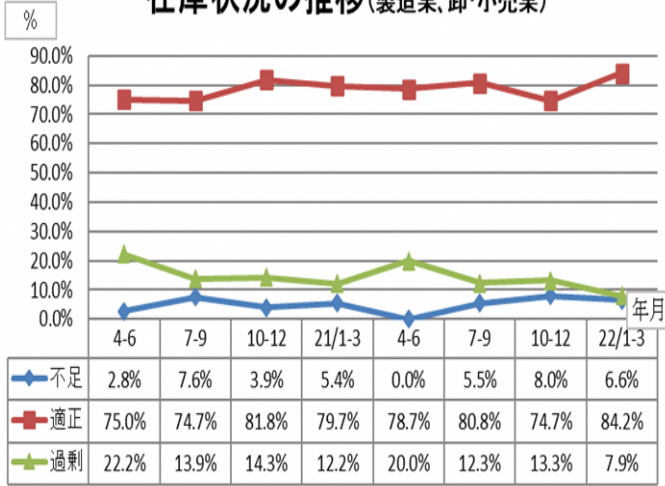
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	5.0%	→ 1.8%
・変わらない	35.4%	→ 34.4%
・難しくなった	1.2%	→ 4.3%



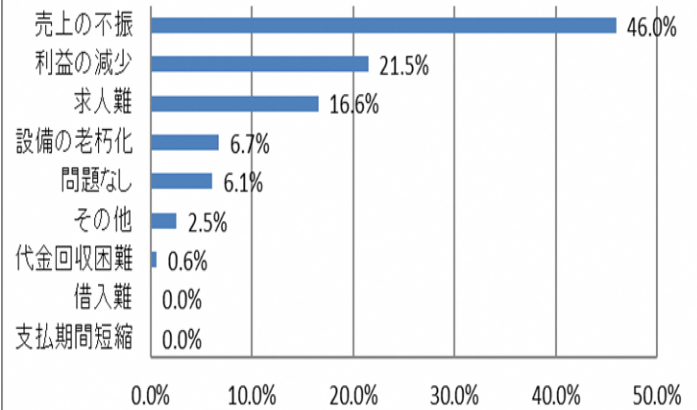
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、4.5%低下し11.5となった。前期における今期予測(6.8)より4.7%上昇し前年同月比では5.6%低下した。全国DIは4.6%低下し10.5となった。

来期については、0.8%上昇し12.3となる見通し。全国DIは1.8%低下し8.7となる見通し。

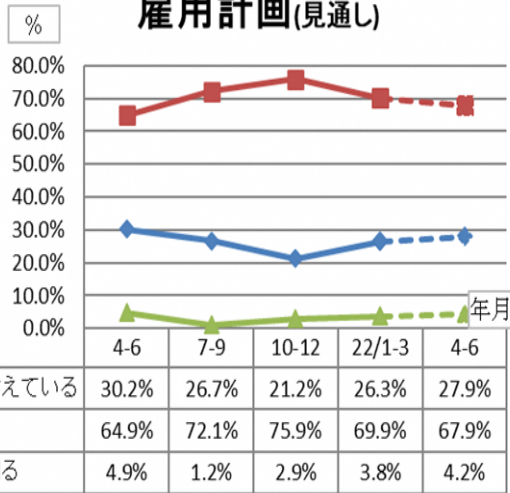
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



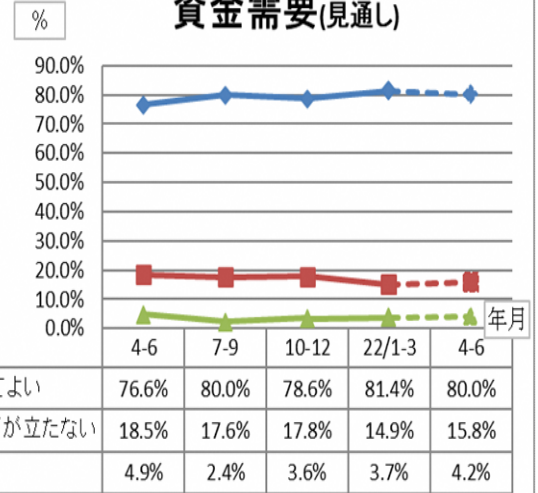
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



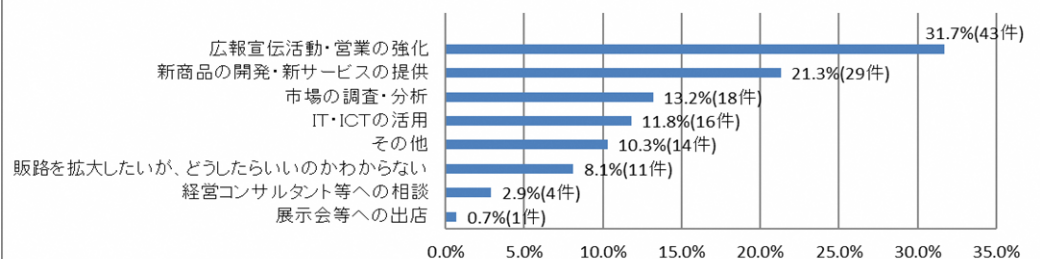
資金需要(見通し)



■販路拡大について

今後、販路拡大について検討する場合に、実施したい取組みについて1つ選択してください。

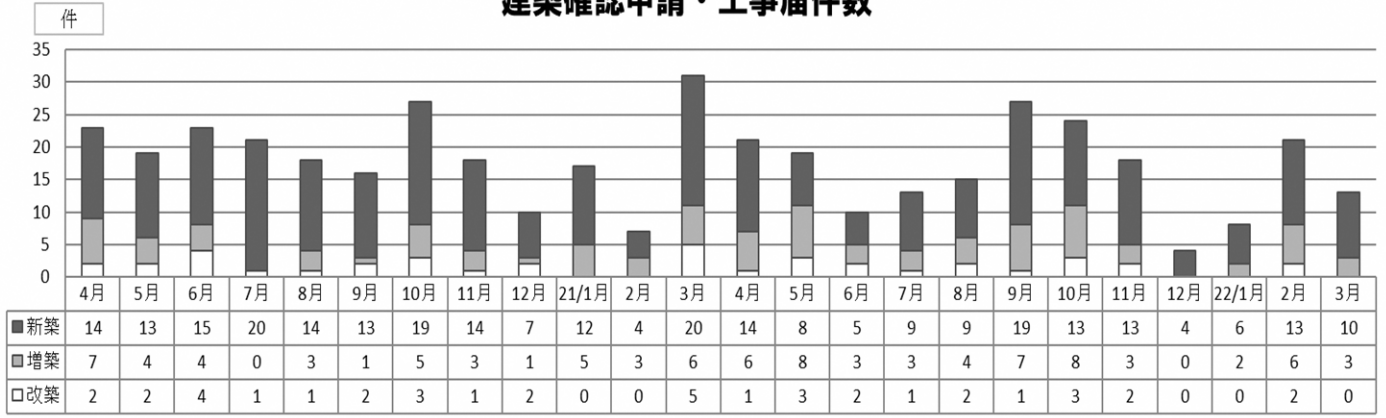
今後、販路拡大で実施したい取組み



【取組みを行う上での課題】

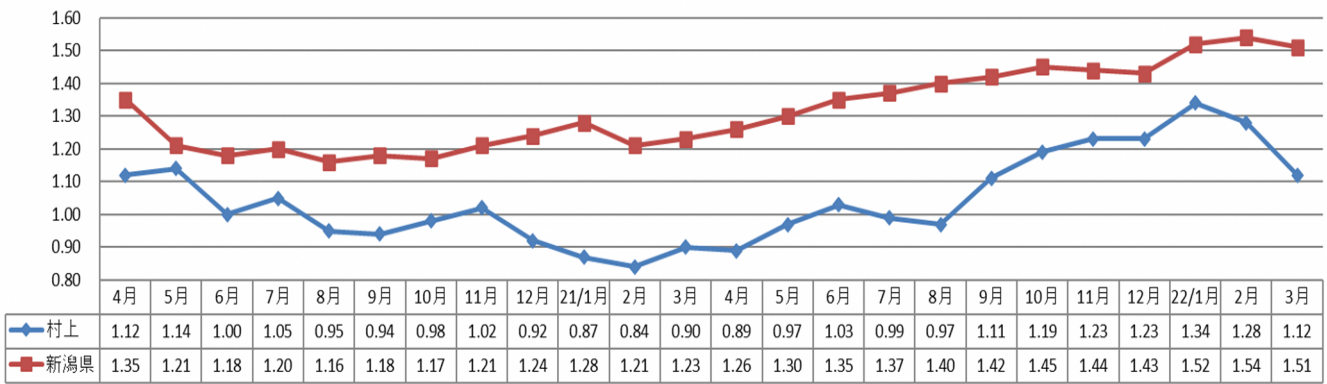
広報宣伝活動・営業の強化	営業強化による顧客の増加。対面営業が難しいのでSNSの強化。 経費をあまりかけたくない。経費の見直し。有効な宣伝が何なのか判断が難しい。
新商品の開発・新サービスの提供	求人難。3Kの印象が強く応募がない。 設備投資が必要で人材確保も困難。商品化まで時間と資金が必要。
市場の調査・分析	安定的な商品供給が可能か。情報量が少ない。ノウハウ不足。 営業エリアの拡大。既存エリアの掘り起こし。 ネットの情報は信ぴょう性に欠ける。個人での市場調査は難しい。
IT・ICTの活用	どこから手を付けていいのかわからない。 同業者との競合。時間と資金が必要。
その他	HP、Instagram、LINE、神林ワークわくちゃんねる (You Tube)。 スキルの向上。人口減少と高齢化。
経営コンサルタント等への相談	専門家に相談したが無策だった。

建築確認申請・工事届件数



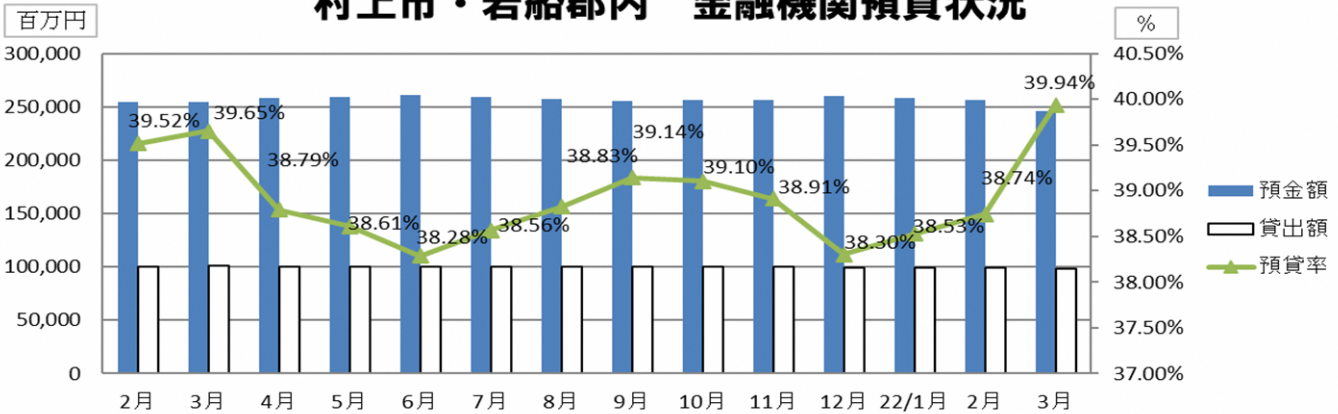
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2022年3月中旬～2022年4月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:166社(回収率83.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2022.1-3実績・2022.4-6見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)